

# ちくご市議会だより

CHIKUGO SHIGIKAI DAYORI TSUNAGU



第85・春号

令和8年5月1日発行  
(2026年)



筑後中学校 村上 咲良さん作

## 3月定例会

- P 2 議案審議
- P 4 常任委員会報告
- P 5 議案賛否状況一覧
- P 6 予算特別委員会報告
- P 8 一般質問 ズバリ市政を問う
- P 13 先進地に学ぶ、議員研修報告
- P 14 きかせて！みんなのおもい



筑後市議会



# 議 案 審 議

令和8年2月臨時会  
2月2日  
令和8年3月定例会  
2月27日～3月18日

## ◆臨時会◆ 2議案を原案どおり可決・承認

・令和7年度筑後市一般会計補正予算（第7号）

## ◆定例会◆ 30議案（人事案件2件、委員会提案1件、議長発議1件を含む）を原案どおり可決・同意

- ・筑後市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について
- ・筑後市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- ・筑後市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和7年度筑後市一般会計補正予算（第8号）
- ・筑後市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定について など



### 臨時会の主な議案と質疑

#### 補正予算

令和7年度筑後市一般会計補正予算（第7号）  
（賛成多数・原案可決）

令和7年度の予算総額を1億1495万円増額し、267億3841万円とする。

#### 歳出の主なもの

◆一般衛生事務に要する経費【5290万円】

物価高騰の影響を受ける中、病床削減に対する国の給付金が国の予算上の制約により減額された筑後市立病院に対し、支援金を支給する。

◆脱炭素社会の促進に要する経費【5549万円】

物価高騰の影響により家計負担が高まる中、家庭における省エネ家電の

**省エネ家電購入補助**

物価高騰の影響により家計負担が高まる中、家庭における省エネ家電(4品目)の購入を支援します。

エアコン    テレビ    冷蔵庫    LED照明器具

エネルギー費用の負担軽減と脱炭素化を推進します。

R8.4.1以降の購入	市内での購入	補助率 1/2
小規模店舗 上限6万円	大型店舗 上限5万円	

4月20日から申請受付中

購入を支援することにより、エネルギー費用の負担軽減を図るとともに、脱炭素化を推進するため、補助金を交付する。

**問** 補助の申請の流れと周知はどのようなのか。

**答** 家電販売店を対象製品を購入後、かんきょう課に申請をしてもらう（申請は1世帯に1回限り）。販売店にも補助制度の内容を理解してもらい、申請受付を開始したい。事前に広報やホームページ等で周知し、円滑にスタートできるように対応していきたい。

### 定例会の主な議案と質疑

#### 条例改正

筑後市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について  
（賛成多数・原案可決）

「こども誰でも通園制度」を実施する事業者が給付を受けるための運営基準を定める。

**問** 本事業における安全確保の具体的な基準について、市はどのような考えで運営する予定か。

**答** 12月議会で上程した認可条例で、安全計画の策定を事業者が行うように定めている。実施する事業者者に策定をお願いしたい。

**問** 事故発生時の対応について、どのような体制を想定しているのか。

**答** 今回の条例で定めており、これに基づき各施設

設で対応してもらいたい。

### 条例改正

**筑後市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について**  
(全員賛成・原案可決)

高齢者を含む全ての世代や企業等、社会全体で子育て世代を支えるために創設された子ども・子育て支援納付金に係る規定を整備するとともに、県の通知を踏まえ税率を改正するなど、所要の改正を行う。

**問** 新たな制度発足でその周知等が課題だと思いが、今後どのような取組をしていく考えか。

**答** 制度全体として実質的な負担増とならない仕組みである。制度の趣旨や国全体での負担調整の考え方について、ホームページやポスター掲示などにより、丁寧な周知と説明に努めていきたい。

また、国が設置している専用のコールセンターの周知を図っていききたい。

**筑後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について**  
(全員賛成・原案可決)

児童福祉法の改正に伴い、県が「地域限定保育士制度」の認定を受けたため、関係条例の改正を行う。

**筑後市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について**  
(全員賛成・原案可決)

女性消防団を分団として位置付けることなどに伴い、所要の改正を行う。



### 補正予算

**令和7年度筑後市一般会計補正予算(第8号)**  
(全員賛成・原案可決)

令和7年度の予算総額を3億4295万円減額し、263億9546万円とする。

#### 歳出の主なもの

#### 歳入歳出予算の補正

◆子どものための教育・保育給付等事業に要する経費 【3739万円】  
私立保育所等への給食材料費高騰分に対する補助金を計上する。

◆中小企業支援に要する経費 【2500万円】  
物価高騰などの影響を受ける市民生活の支援ならびに市内消費の喚起および下支えのため、プレミアム商品券の販売に必要な経費を計上する。

◆羽犬塚中学校改修事業に要する経費  
【△4億3412万円】  
工事期間中の安全を確保するため、学校東側道路拡張工事を先行して実施し、その完成後に建築工事に着手することから、事業の実施期間を令和8年度から2か年度にまたがるスケジュールへ見直し、令和8年度事業に必要な経費は繰り越し、不要となる額を減額する。

#### 繰越明許費補正

自治体情報システムの標準化対応を令和8年度へ延伸する「基幹業務システム標準化対応業務」など年度内の完了が見込めない7事業について、翌年度に繰り越す。

各議案の審査内容を4ページの常任委員会報告に掲載。令和8年度予算の審査内容については、6〜7ページに掲載。

### 委員会提案

**筑後市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定について**  
(全員賛成・原案可決)

制定から20年が経過し、ハラスメント防止やSNS等での情報発信に配慮が求められるなど、社会情勢や市民意識の変化を受けて、議員全員で政治倫理の基本的な認識について改めて検証した。議会改革調査特別委員会で見解をまとめ、遵守すべき政治倫理基準について、新たな項目を追加するなど所要の改正を行う。

#### 人事案件2件(同意)

#### 人権擁護委員

青木 千栄美【新任】  
上野 京子【再任】





# ★ 常任委員会報告 ★

## 主な審査をピックアップ

市長から提出された議案を、所管の常任委員会で詳しく審査しました。

### 厚生委員会

#### ◆貸付基金条例を廃止

介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例は、平成 23 年度を最後に、10 年以上にわたり貸付実績がない。今後も役割は低いと見込まれるため、関係条例を廃止する。

**問** 今後支援が必要となった際の対応は。

**答** 社会福祉協議会の貸し付けなどを紹介する。また、個別事情については包括支援センターで支援につなげていく。

#### ◆女性消防団を分団に組織変更

多様な人材で地域防災を支える体制を示し、消防団への理解と信頼向上を図るため、女性消防団を分団に位置付ける。

**問** 女性消防が分団化しているところはどのくらいあるのか。

**答** 正式には把握されていないが、全国で 17 分団程度と思われる。

**問** 分団長、副分団長などを担う次世代の人材育成は。

**答** 将来を見据えて適切に人材育成を行っていく。



今後も活躍が期待される女性消防団

### 建設経済委員会

#### ◆羽犬塚駅周辺整備の進捗は

都市構造再編集中支援事業（JR羽犬塚駅周辺地区）については、水路工事の工期延長等により、令和 7 年度予算の繰り越し額を増額補正する。

**問** JR羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画事業の進捗状況は。

**答** 現在、進めている浸水対策および道路新設事業では、44 人の地権者およびアパート借家人が対象で、7 年度の用地取得率は、全体の 25.8%となっている。

また、事業全体の進捗率は、6 年度、7 年度合わせて約 24 %で、おおむね予定どおり進んでいる。



羽犬塚駅周辺事業の工事の様子

### 総務文教委員会

#### ◆羽犬塚中学校改修事業を見直す

当初、今年度にプール棟・給食棟の工事に着手する予定としていたが、設計の修正や交付金の採択が遅れたことから、年度内の着手が困難となった。

このため、本事業を令和 8 年度から 9 年度までの 2 か年事業に見直すもの。

**問** 事業を 2 年間とした理由は。

**答** 生徒の安全確保を最優先とする観点から、見直しを行った。具体的には、通学時および工事期間中の安全性向上を図るため、学校東側道路の拡幅工事を先行し、その後、校内の動線確保および施工区域の明確化を図った上で、プール棟・給食棟の建設工事に着手する。

**問** 当初からこの計画ですべきではなかったのか。

**答** 当初計画では、工事後の安全確保ということで、まずは東の動線の拡張関係を考えていた。しかし、工事期間中の生徒の安全確保が第一と、計画を見直した。

2月臨時会

議案賛否状況一覧

○賛成 ●反対 - 欠席

議案番号	案 件	結 果	矢加部茂晴	川口樹里	吉岡正晴	貝田弘子	中村和弘	宇野晶	鶴佑季子	大石昭彦	高野一成	川口裕二	石橋章	永松孝信	村上博昭	富安伸志	山下秀則	原口英喜	弥吉治一郎
議案第1号	令和7年度筑後市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○
議案第2号	専決処分承認について（一般会計補正予算第6号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○

※弥吉治一郎議長は採決には加わりません。

3月定例会

議案賛否状況一覧

○賛成 ●反対 - 欠席

議案番号	案 件	結 果	矢加部茂晴	川口樹里	吉岡正晴	貝田弘子	中村和弘	宇野晶	鶴佑季子	大石昭彦	高野一成	川口裕二	石橋章	永松孝信	村上博昭	富安伸志	山下秀則	原口英喜	弥吉治一郎
議案第3号	筑後市職員の特種勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第4号	筑後市介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例を廃止する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第5号	筑後市保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第6号	筑後市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第7号	筑後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第8号	ちっごの生命(いのち)をつなぐ食育条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第9号	筑後市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第10号	筑後市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第11号	筑後市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第12号	筑後地域消防通信指令事務協議会規約の変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第13号	令和7年度筑後市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第14号	令和7年度筑後市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第15号	令和7年度筑後市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第16号	令和7年度筑後市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第17号	令和7年度筑後市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第18号	令和8年度筑後市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第19号	令和8年度筑後市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第20号	令和8年度筑後市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第21号	令和8年度筑後市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第22号	令和8年度筑後市介護保険特別会計（地域包括支援センター事業勘定）予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第23号	令和8年度筑後市市営住宅敷金管理特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第24号	令和8年度筑後市地方独立行政法人筑後市立病院貸付特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第25号	令和8年度筑後市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第26号	令和8年度筑後市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第27号	市道路線の廃止及び認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第28号	令和7年度筑後市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第29号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第30号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
委員会提案 議案第31号	筑後市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議長発議	特別委員会の設置について（予算）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

※弥吉治一郎議長は採決には加わりません。

予算特別委員会審査

3月13日、16日、17日

暮らしに密着した事業をチェック

令和8年度の一般会計予算は過去最大**259.7**億円  
(前年度比 1.5%増)

一般会計、特別会計、企業会計の当初予算を審査、可決

全議員による予算特別委員会を設置。委員長に原口英喜議員を選出し、3日にわたり慎重に審査した。

その結果、各会計とも原案どおり可決された。

一般会計予算の歳入歳出総額は、259億7000万円(前年度比3億8000万円増)。増額となった主な理由は、都市構造再編集集中支援事業や旧下妻・古島小学校跡地整備など大型事業の実施や自立支援給付事業を始めとする扶助費、人件費などの増加による。

一般会計

令和8年度当初予算は、第六次筑後市総合計画画後期基本計画の4つの重点分野を柱に編成された。  
(詳細は7ページ参照)

◆不登校児童生徒健康診査委託料

【427万円】

問 どういう形で実施する予定か。

答 学校検診と同様の項目で、内科、耳鼻科、眼科などは、筑後市立病院で、歯科は、市内の歯科医師会加入の歯科医療機関で実施する。実施期間は7月から翌年3月まで、週1日程度を考えている。筑後市立病院には臨床心理士が在籍しているため、希望者には相談の機会を設ける予定。

◆給食に要する経費

【中学校賄材料費

1億626万円】

問 国の重点支援交付金を活用して保護者負担の軽減を行うとのことだが、

一人当たり月額負担額はいくらか。

答 令和8年度の食材料費は、月額6千円の見込み。保護者負担は、7年度と同額の4900円に据え置きたい。

特別会計

国民健康保険特別会計

55億3374万円

(前年度比2・8%減)

問 県内における国民健康保険税の統一の議論はどの段階にあるのか。

答 国は、国保制度を将来にわたり安定的で持続可能なものとするため、県単位の保険料水準の統一を目指している。福岡県では、令和8年度中に統一に向けロードマップを示す予定であり、現在検討が進められている。

問 保険税が県内で統一された場合、本市の保険税水準は上昇する可能性があるのか。

答 詳細が未定なので、現段階では不明である。

企業会計

●水道事業会計

14億1297万円

(前年度比2・9%減)

●下水道事業会計

16億5874万円

(前年度比0・7%増)

※収益的支出と資本的支出の合計

後期高齢者医療特別会計  
10億5854万円  
(前年度比11・9%増)

介護保険特別会計(保険事業勘定)  
48億6542万円  
(前年度比4・6%増)

介護保険特別会計(地域包括支援センター事業勘定)  
4951万円  
(前年度比11・5%増)

市営住宅敷金管理特別会計  
2447万円  
(前年度比7・5%減)

地方独立行政法人筑後市立病院貸付特別会計  
10億6441万円  
(前年度比6・7%増)

# 議会 でしたっきりチェック

～令和8年度のまちづくり～

◇ 「庁舎整備推進事業」



- ・庁舎建設実施設計業務委託料
- ・本庁舎等解体設計業務委託料
- ・南別館・第二南別館等  
解体工事請負費 など

**2億4722万円**


◇ 市営住宅整備事業



- ・PFIアドバイザー  
業務委託料

**806万円**

重点分野 「防災・減災対策の強化」



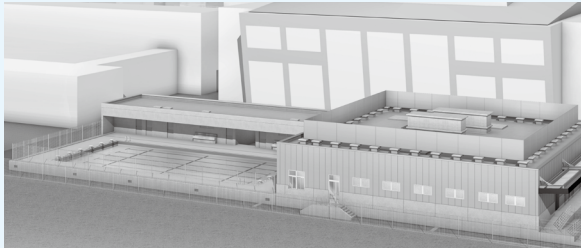
整備前                      整備後

秩序ある市域の整備、防災・減災対策の推進  
道路、河川・水路の整備と保全

**15億8411万円**

- ・都市構造再編集集中支援事業(JR羽犬塚駅周辺地区)
- ・水路等整備事業
- ・県営農業農村整備事業 など

重点分野 「人口減少・少子高齢化への対応」



羽犬塚中学校プール・給食棟 完成予想図

子育て支援、高齢者福祉、学校教育の充実

**6億7231万円**

- ・学校給食事業(小中学校)
- ・生きがいづくりと介護予防の推進
- ・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)
- ・二川小学校外壁改修工事 など

重点分野 「デジタル化・脱炭素社会の実現」




公用電気自動車                      市役所駐車場内の急速充電器  
どうぞご利用ください

環境保全と脱炭素社会の促進  
デジタル化の推進

**1億5785万円**

- ・地球温暖化防止事業
- ・デジタル化の推進(基幹系システム利用料)

重点分野 「地域共生社会づくり」



子育て交流会

地域福祉、市民協働の推進

**1億7677万円**

- ・支え合いの意識と人づくり
- ・行政区活動補助金
- ・校区コミュニティ・地域活動支援事業 など

一般質問

ズバリ  
市政を問う

一般質問の映像は、  
市ホームページで  
見ることができます。



3/4  
富安伸志議員  
宇野 晶議員  
川口樹里議員  
吉岡正晴議員



3/5  
永松孝信議員  
貝田弘子議員  
川口裕三議員  
山下秀則議員



3/6  
高野一成議員

今定例会での一般質問は、3月4日から6日までの3日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

リチウム電池  
火災対策の強化を



富安 伸志 議員

問

リチウムイオン電池による火災が全国的に増えている。事故などを防ぐため、回収を進める上で従来の周知に加えて、より分かりやすい周知や啓発が必要では。

答

製品例をイラスト等で示し、視覚的に分かりやすい周知に努めたい。また、市公式LINEなどを活用し、年末の大掃除などの排出が増えるタイミングで、効果的な情報発信に努める。

問

安全な回収のため、市の回収に加え、民間事業者などによる回収も必

要だが、連携は。

答

小売店に対し、販売時に廃棄方法の説明をするなど、購入段階から適正処理につながる取組への協力をお願いする。

市立病院への  
財政支援も  
必要になるのでは

問

物価等の高騰により市立病院も赤字が続き経営危機に直面している。

答

債務超過などにより経営に支障が生じないよう、財政支援を検討することもある。支援としては、補助金や交付金のほか、一時的な貸し付けなどが考えられる。

答  
分かりやすい啓発  
や小売店等へ協力  
要請に努める



膨張・破損したモバイルバッテリー  
(上) (下)

# 物価高騰対策 支援事業の財源は

**答** 国からの交付金に市費を一部上乘せしている



宇野 晶 議員

**問** 国からの重点支援地方交付金の内容は。  
**答** 国は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援として10の推奨事業メニューを示すとともに、地域の実情に応じた取組を求め、本市は

対して約5億1267万円の交付限度額を通知した。

**問** 物価高騰対策支援事業の財源について、国の交付金に対する市の独自財源の上乗せは。  
**答** これまで交付金を基本としつつ、一部に市費を上乘せしてきた。

**地域共生社会づくりは**

**問** 人口減少・少子高齢化が急速に進む中、地域のまちづくりを支える関係者の高齢化や後継者不足の対策は。

**答** 人口減少・少子高齢化が急速に進む中、地域のまちづくりを支える関係者の高齢化や後継者不足の対策は。



多くの人が無理なく関わる地域へ

**答** 自治会や消防団、ボランティア団体などの地域役員の担い手不足は深刻な課題である。役員の負担を軽減し、「限られた人が支える地域」から「多くの人が無理なく関わる地域」への転換を図っている。

**問** 令和9年度から始まる第七次筑後市総合計画における地域共生社会づくりの方針は。

**答** 地域の負担を考慮しながら地域活動を支援する体制を整える必要がある。基本的な考え方は変わらない。

# 認知症と難聴の関係性は



川口 樹里 議員

**問** 加齢性難聴は認知症につながると言われるが、その予防や早期発見について、どの年代から意識していく必要があるか。

**答** 聞こえの低下は徐々に進行し、自覚しにくい。40代を含む働く中年期世代から関心を持ち、生活習慣病や職場環境を意識することが大切である。

**問** 中年期に難聴になった場合、難聴のない人と比べて、認知症の発症リスクが1.9倍高いと示すデータもある。特定健診の項目に聴力検査を入れた場合の費用は。

**答** 一人当たりおおむね500円前後と聞いていますが、健康寿命の延伸に資する施策であるかを慎重に見極める必要がある。

**日頃の健康管理が難聴や認知症も防ぐ**

**問** 軽度の加齢性難聴が発見された場合や、加齢性難聴を予防するために、どのようなことをすればよいか。

**答** 結果として認知機能の低下につながる恐れがある

**答** 早期に耳鼻咽喉科を受診することや日頃からの健康管理のほか、聞こえにくい状態を放置しないことが重要である。

**問** 生涯学習まちづくり出前講座で、難聴と認知症の関係性をテーマにした講座を実施できないか。

**答** 出前講座や認知症予防講座などの機会を利用し、普及啓発に取り組む。



40代でも「聞こえの低下」に関心を持とう

## 市の救急出動件数は

**答** 高い水準で推移している



吉岡 正晴 議員

**問** 救急搬送先については、高度な医療機器などを備えた医療機関への搬送を望む声もあるが。

**答** 希望やかかりつけ医であるという理由で、すべての傷病者を搬送すると、その医療機関の受入

能力を超える恐れがある。そのようなことも含め、福岡県の医療計画で、救急医療機関の役割分担を定めており、現場の救急隊が経緯などを聞きながら、総合的に判断し、それに対応できる医療機関を選定している。

**問** 救急車を適正に利用する観点から、救急安心センター「#7119」や小児救急医療電話相談「#8000」の活用を促進するために、どのように周知するのか。

**答** 市ホームページへの掲載や救急の各種講習時

### 自転車青切符制度の周知啓発は

**問** 本年4月から導入される自転車の青切符制度に対する認識と対応は。

**答** 自転車が道路交通法上の車両であることを利用

者一人一人が認識し、交通ルール遵守の意識を高め、自転車事故の防止を図る制度であると受け止めている。広報紙やSNSを活用するなど、周知啓発に努める。



救急車の適正利用で迷ったら相談を

## 機能別消防団の導入は

**答** 今後の状況や他自治体の取組を参考に研究する



永松 孝信 議員

**問** 筑後市消防団の団員確保について、署はどのような取組をしているか。

**答** 市のホームページや広報ちくごに掲載している。また、今年度はのぼり旗を作成し、各分団の車庫に掲示している。そのほか、ちくご祭で消防団のブースを設けて若年層を対象に加入促進活動を行ったり、消防団新聞を作成し配布したりしている。

**問** 消防団OBを活用した機能別消防団についての考えは。

**答** 消防団員の減少が進

**問** 団員確保の手段として、機能別消防団について消防団と協議を進めるべきでは。

**答** 機能別消防団は、特

定の活動や時間帯に限定して参加する制度で、団員確保対策の一つである。しかし、機能別消防団を導入するよりも、地域や事業所への働きかけを通じて団員確保に力を入れていく。今後の状況や、他自治体の取組を参考にしながら必要に応じて制度の研究を行っていく。



筑後市消防団員を募集中

# 多様な学びの場を 広げる具体策は

**答** 教育支援教室スマイルや別室登校へ  
つなげたい



貝田 弘子 議員

**問** 筑後市総合教育会議の資料では、不登校の要因は小学校の58%、中学校の82%が「個人に起因」と分類されているが、**答** 国の統計上の分類であり、個人の責任を意味するものではない。

**問** 令和6年度における市内の不登校児童生徒は、189人である。教育機会確保法は、学びの機会を確保することを自治体の責務にしているが、教育機会の保障は。

**答** 年間で30日欠席すると不登校扱いとなる。出席日数の少ない児童生徒には、スマイルの利用や別室登校につなげ、教育の機会を提供したい。

**問** 学習者の多様な化学校の設置は。  
**答** 設置は検討しておらず、既存の教育支援教室や校内支援センターの活用と周知を図る。

## 保護者への支援 実態の把握状況は

**問** 不登校の子どもを抱える保護者における介護休業の利用や、不登校を理由とする離職の実態は把握しているのか。

**答** 実態調査は実施しておらず、把握していない。

**問** 介護休業制度の周知はどのように行うのか。

**答** 国の資料を活用し、ホームページへの掲載や学校などへ情報共有を行う。

**問** 学びの多様な化学校の設置は。

**答** 設置は検討しておらず、既存の教育支援教室や校内支援センターの活用と周知を図る。



自由に学び合う多様な学びの場

# 新たに不登校を 生まない取組は



川口 裕二 議員

**問** 市内の小中学校における不登校の状況は。

**答** 令和6年度末時点で小学校77人、中学校12人で過去最多となっている。

## 小さな変化を 見逃さない体制が 大切だ

**問** 各学校での不登校の未然防止や初期対応は。

**答** あいさつや声かけ、称賛など、一人一人を認めていくことに努めている。また、表情や態度、出席状況など子どものサインに気づき、組織とし

ての対応を行っている。

さらに、保護者と学校で共通認識を持って対応するように努めている。今年度は、市の方針として、別室での個別学習やオンラインでの授業参加などに取り組んでいる。

## 別室での個別学習 には複数の教職員 が必要だが

**問** 人的配置はどのようなになっているのか。

**答** 教員が交代で見守り

**答** 一人一人を認めていくことなどに努めている

や自習の補助をしているほか、教育支援センターから派遣する教育支援員を活用している。

**問** 地域全体で子どもの健やかな成長を支援するという立場からも、地域の人材を活用する考えは。

**答** 学校運営には、地域の協力が不可欠であると考えている。すでに別室登校の見守り支援で地域の協力を受けている学校もあり、今後、広まるよう進めていきたい。



みんなが笑顔で通える学校へ

## 学校での睡眠教育は

**答** 主に小学3年生以上の体育科で行っている



山下 秀則 議員

**問** 睡眠教育とは、睡眠についての正しい知識と習慣を身につける教育をいう。睡眠リズムが乱れることで昼夜が逆転し、朝起きられず不登校の原因となる。また、睡眠不足は学力低下にもつなが



睡眠は心身の健康と関係している

**答** 学校での睡眠教育は、主に、小学3年生以上の体育科で扱っている。規則正しい睡眠と心身の健康の関係や、睡眠を含む望ましい生活習慣を身につけることの重要性などを学んでいる。

**問** 学校以外での取組は。

**答** 昨年度、市教育研究所の研修講座で、教職員に対し睡眠教育に関する講座を開催した。

**問** スマートフォンなどの普及により、睡眠時間が十分に確保されていない。

**答** い子どもが多くいる実態がある。児童・生徒におけるSNSの利用やその影響は。

**問** 児童・生徒のSNSやインターネットの利用率は高い状況にある。利用を誤ると、メンタルヘルスの悪化や睡眠障害、集中力低下などの心身への影響のほか、人間関係の悪化や誤った情報の拡散などの悪影響を与える。市においても、SNSでの誹謗中傷の報告を受けている。

## ごみ減量の対策は



高野 一成 議員

**問** ごみ減量の推移は。

**答** 家庭から出た燃やすごみは、令和4年度は約8194トン、6年度は約7633トンで、約6・9%減少している。

**問** 手前取りのポップを掲示している店舗数は。

**答** コンビニなど約50店舗に協力を依頼し、25店舗で掲示された。デザインの見直しや、店舗営業に支障をきたさない効果的な方法を検討する。

**問** レアメタルなどは輸

入に頼っているが、小型家電や半導体などにおけるリサイクルの内容は。

**答** 分別収集で回収した、デジカメや小型ゲーム機などを八女西部へ搬入した後、事業者へ売却し再資源化されている。

**問** ごみ減量推進のため、もっと小さいごみ袋の導入を検討しては。

**答** 製造単価の上昇や収集効率、コストなどの課題があり、直ちに導入することは難しい。

**問** 制服などのリユースを市が仲介できないか。

**答** 現段階で、市が主体となつての仲介は難しい。中学校で、寄贈された制服や体操服を貸し出し、有効活用している。

**答** 着実に3Rの取組を進めごみ減量を図っていく

### 6年生の部

また買うの それまだおうちに あるのにさ  
筑後小学校6年 力武 渚 さん

### 5年生の部

フードロス へらす一步は 手前取り  
羽犬塚小学校5年 鶴田 逢華 さん

### 4年生の部

考えよう 食べれる量と 買う量を  
筑後南小学校4年 富田川 蒼 さん

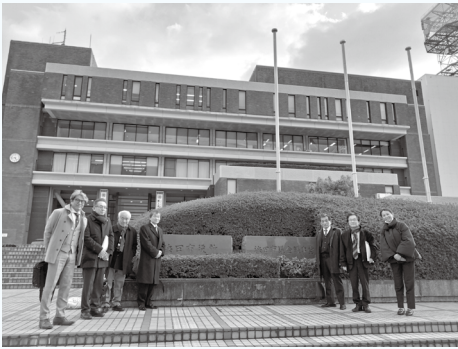
令和7年度食品ロス削減標語コンクール最優秀賞

議会運営委員会  
研修報告

令和8年1月28日～1月29日



全員協議会室での視察風景  
(奥半分は愛媛県新居浜市議会)



浜田市役所前で

【人口】  
浜田市 184,705人

研修では、住民に開かれた議会の実現に向け、島根県浜田市議会の先進的な取組を、愛媛県新居浜市議会と合同で視察した。特に、市民が議場で直接意見を述べる「はまだ市民一日議会」と、その意見を政策へ反映する仕組みについて学んだ。また、合同視察により、異なる視点の意見も得ら

れた。理解を深める機会となった。  
**市民の意見を市政に反映させる取組**  
一日議会とは、市民が議場で直接意見を述べることで、開かれた議会の実現を目指すものである。議員はその場で回答せず傾聴に徹し、終了後に発言内容を全員協議会で協議。各委員会にて検討の上、一般質問や政策提言へ反映しているところが特徴である。

また、結果を発言者に報告している。若年層の参加も多く、人材育成や幅広い世代の声を議会に反映するなどの成果が見られる一方、参加者確保が課題とされている。  
また、議会報告会や意見交換会などの広聴活動とも連動し、市民の意見を継続的に活用している。本研修で得た知見を踏まえ、本議会においても市民参加の充実と議会活動の活性化を一層推進していきたい。

議員研修報告

～特殊詐欺防止研修～

2月27日、筑後警察署から中村健一署長を講師にお招きし、特殊詐欺の現状や最新の動向について、議員研修会を開催しました。

研修では、警察官などを装う特殊詐欺やSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害状況、犯行手口について説明を受けるとともに、被害防止対策についてご講義いただきました。



また、二セ電話詐欺で多く使用されている国際電話や、LINEにおける被害を未然に防ぐための具体的な対策についても説明がありました。

今回の研修を通して、防犯対策の重要性を改めて認識しました。市議会としても、安全・安心なまちづくりの実現に向け、引き続き取り組んでまいります。



## きかせて！みんなのおもい



インタビューに答えてくれた筑後中学校の生徒のみなさん  
(左から)  
小宮大雅さん、古賀俊士稀さん、井口彰太さん、松本ひかりさん、  
野口文秀さん、村上咲良さん、四位羅夢さん

筑後中学校の生徒会執行部と、  
絵を描いてくれた生徒への  
インタビューの内容を掲載します。

### 表紙作品の説明

毎年家族でお詣りに行っており、筑後市の建造物の中で一番最初に思い浮かぶ恋の木神社を描いた。筑後市の明るい未来をイメージした。

### 筑後市で直してほしいところは？

夜間、バイクや車の騒音がひどいところ。  
また、ながらスマホや傘をさしたまま自転車を運転している人を見かけるので、交通ルールを周知してほしい。

### 学校の自慢は？

個性豊かな生徒が多く、体育祭などの行事にしっかり取り組むところ。学校が楽しくなるほど先輩たちが優しいところ。

## 次回 6 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5 本会議 (議案上程)	6
7	8	9	本会議 (一般質問)			13
14	15 本会議 (質疑応答)	16	常任委員会		19 本会議 (討論採決)	20

※午前10時に開会します。会議の日程などは変更になる場合があります。議会事務局にお問い合わせください。

## 議会を傍聴しませんか？

- 本会議は、どなたでも傍聴できます。
- 【議 場】 市役所本庁舎2階
  - 【受 付】 傍聴席入口の受付簿の記入をお願いします。(事前申し込み不要)
  - 【一般質問】 順番が決まった後、開会日2日前に、順番と内容を記載したチラシを設置します。  
＜設置場所＞  
総合案内窓口・図書館 など
  - 【生 中 継】 インターネットや市民課ロビー、サンコアロビーのテレビでも生中継をしています。
  - 【託児予約】 傍聴希望日の4日前までに、お申し込みください。 利用料無料

問い合わせ・申込先(議会事務局)  
☎ 0942-53-4013



- 委員長 川口裕里  
副委員長 川口樹二  
委員 川口樹二  
委員 矢加部晴子  
委員 中村弘子  
委員 宇野和晶

ちくご市議会だより  
編集特別委員会

今号で3号目となる。市民と議会をつなぐ議会だより「つなぐ」というサブタイトルを設けた。面変更を進めている。正解はない。議会と市民をつなぐ冊子として時代が求める物となつていくのか。本来の目的は何なのか。果たさせているのか。問いかけてみる。作業は残っている。残すべきは残し、変えるべきは変える。その事へ臆することなく臨んでいかなければならない。世の中は激しく変化している。変化しなければ時代を求められない。自己満足を求める物になつてはならない。考え続けることが努めである。

(和)



### 村上博昭議員逝去

ちくご市議会だより編集特別委員会で委員を務められた村上博昭議員が3月29日に逝去されました。ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。